

# 市長との約束 2018



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

民生部長

安住 伸

約束内容	地域で相互に支え合える仕組みづくりの推進 地域社会福祉施策の推進
達成目標	①自殺対策計画の策定 ②子どもの学習支援
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★☆
達成状況	①平成31年2月に予定どおり策定しました。 ②大崎市子どもの生活・学習支援については、平成31年度からの実施に向け、公募型プロポーザル方式による業者の選定を完了し、年度内に契約する予定です。
今後の課題 解決策	①自殺対策協議会及び自殺対策推進本部を定期的に開催し、自殺対策関連事業の連携や実施方法などを検討しながら、効果的に推進できるよう進めます。 ②4月以降の実施状況から、利用者ニーズの把握や実施方法などを検討し、平成32年度以降の事業実施に向け、事業内容や委託期間の見直しなどを行います。

約束内容	安心して産み育てられる子育て環境の整備
達成目標	保育所待機児童ゼロを実現します。（平成30年4月1日現在、6人）
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★★☆
達成状況	①年度内の待機児童の解消 年度当初の待機児童数は64人で、2月1日現在では56人となっており、年度途中の申し込みにも対応しつつ、年度当初より待機児童を減少させることができました。 ②平成31年度当初の待機児童の解消 幼児教育・保育の無償化により、例年の1.5倍の入所申込みがありました。保護者や施設との調整により、現時点で調整中の児童数は86人となっています。
今後の課題 解決策	待機児童を解消するため、引き続き保護者や施設との入所調整を行うとともに、民間事業者の整備を促進させ、入所枠の受入拡大を図る必要があります。現時点で6施設の新設について協議を行っております。

約束手内容	介護サービスの充実
達成目標	介護老人福祉施設の待機者の縮減を図ります。
達成度	C 達成目標を下回る（50%未満） ★☆☆☆
達成状況	第7期計画で整備を計画する施設について、小規模多機能型居宅介護事業所の事業者は決定しましたが、他の施設の応募や事業者選定には至りませんでした。
今後の課題 解決策	事業者選定に至らなかった施設については、新年度早々に募集を進め、募集期間も2カ月ほどに延長する予定です。また、事業者の参入促進に向けて優遇（支援）策を検討してまいります。

約束手内容	地域包括ケアシステムの構築，深化・推進
達成目標	平成30年度中に生活支援体制整備事業に取り組む地域自治組織を12カ所に拡大します。（現在5団体）
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★★★
達成状況	生活支援体制整備事業の実施団体は目標値を下回る結果となりました。（目標12団体→実績7団体）
今後の課題 解決策	既実施団体へのフォロー，新規実施団体の発掘，地域の機運の向上を並行して行ってまいります。